



3.0 Trend Micro Portable Security™ 3

製品評価ガイド

for Windows & LINUX™



Endpoint Security

※注意事項

複数年契約について

- ・お客さまが複数年契約（複数年分のサポート費用前払い）された場合でも、各製品のサポート期間については、当該契約期間によらず、製品ごとに設定されたサポート提供期間が適用されます。
- ・複数年契約は、当該契約期間中の製品のサポート提供を保証するものではなく、また製品のサポート提供期間が終了した場合のバージョンアップを保証するものではありませんのでご注意ください。
- ・各製品のサポート提供期間は以下の Web サイトからご確認ください。

<https://success.trendmicro.com/jp/solution/000207383>

法人向け製品のサポートについて

- ・法人向け製品のサポートの一部または全部の内容、範囲または条件は、トレンドマイクロの裁量により随時変更される場合があります。
- ・法人向け製品のサポートの提供におけるトレンドマイクロの義務は、法人向け製品サポートに関する合理的な努力を行うことに限られるものとします。

著作権について

本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本ドキュメントまたはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本ドキュメントおよびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TRENDMICRO、TREND MICRO、ウイルスバスター、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、InterScanWebManager、InterScan Web Security Suite、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、Trend Park、Trend Labs、Network VirusWall Enforcer、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、SPN、SMARTSCAN、Trend Micro Kids Safety、Trend Micro Web Security、Trend Micro Portable Security、Trend Micro Standard Web Security、Trend Micro Hosted Email Security、Trend Micro Deep Security、ウイルスバスタークラウド、スマートスキャン、Trend Micro Enterprise Security for Gateways、Enterprise Security for Gateways、Smart Protection Server、Deep Security、ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス、SafeSync、Trend Micro NAS Security、Trend Micro Data Loss Prevention、Trend Micro オンラインスキャン、Trend Micro Deep Security Anti Virus for VDI、Trend Micro Deep Security Virtual Patch、SECURE CLOUD、Trend Micro VDI オプション、おまかせ不正請求クリーンナップサービス、Deep Discovery、TCSE、おまかせインストール・バージョンアップ、Trend Micro Safe Lock、Deep Discovery Inspector、Trend Micro Mobile App Reputation、Jewelry Box、InterScan Messaging Security Suite Plus、おもいでバックアップサービス、おまかせ！スマホお探しサポート、保険&デジタルライフサポート、おまかせ！迷惑ソフトクリーンナップサービス、InterScan Web Security as a Service、Client/Server Suite Premium、Cloud Edge、Trend Micro Remote Manager、Threat Defense Expert、Next Generation Threat Defense、Trend Micro Smart Home Network、Retro Scan、is702、デジタルライフサポートプレミアム、Air サポート、Connected Threat Defense、ライトクリーナー、Trend Micro Policy Manager、フォルダシールド、トレンドマイクロ認定プロフェッショナルトレーニング、Trend Micro Certified Professional、TMCP、XGen、InterScan Messaging Security、InterScan Web Security、Trend Micro Policy-based Security Orchestration、Writing Style DNA、Securing Your Connected World、Apex One、Apex Central、MSPL、TMOL、TSSL、ZERO DAY INITIATIVE、Edge Fire、Smart Check、Trend Micro XDR、Trend Micro Managed XDR、OT Defense Console、Edge IPS、Trend Micro Cloud One、スマスキャ、Cloud One、Cloud One - Workload Security、Cloud One - Conformity、およびウイルスバスターチェック！は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2021 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N: TP39411/210913_JP (2021/11)

プライバシーと個人データの収集に関する規定

トレンドマイクロ製品の一部の機能は、お客様の製品の利用状況や検出にかかわる情報を収集してトレンドマイクロに送信します。この情報は一定の管轄区域内および特定の法令等において個人データとみなされることがあります。トレンドマイクロによるこのデータの収集を停止するには、お客様が関連機能を無効にする必要があります。

Trend Micro Portable Security により収集されるデータの種類と各機能によるデータの収集を無効にする手順については、次の Web サイトを参照してください。

<https://www.go-tm.jp/data-collection-disclosure>



重要

データ収集の無効化やデータの削除により、製品、サービス、または機能の利用に影響が発生する場合があります。Trend Micro Portable Security における無効化の影響をご確認の上、無効化はお客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

トレンドマイクロは、次の Web サイトに規定されたトレンドマイクロのプライバシーポリシー (Global Privacy Notice) に従って、お客様のデータを取り扱います。

https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/legal/privacy-policy-product.html

目次

第 1 章：概要

第 2 章：評価の目的

第 3 章：評価に必要なもの

サポートされる OS	15
------------------	----

第 4 章：検索ツールの集中管理のユースケース

4.1 管理プログラムをインストールして検索ツールのアクティベーションを実行する	20
4.2 最新のコンポーネントとパターンファイルにアップデートする	24
4.3 検索ツールを事前設定する	25
4.4 設定とコンポーネントを管理プログラムから検索ツールに同期する	28
4.5 検索ツールを事前設定して確認する	30
4.6 検索ツールで Microsoft Windows システムを検索する	35
4.7 検索ツールで検索結果を確認する	38
4.8 検索ログを検索ツールから管理プログラムに転送する	40
4.9 管理プログラムで検索結果を確認する	43
4.10 管理プログラムで資産情報を確認する	44

第 5 章：スタンドアロンモードで設定されている検索ツールのユースケース

5.1 検索ツールのライセンスのアクティベーションを実行する	48
--------------------------------------	----

5.2 最新のコンポーネントとパターンファイルにアップデートする	50
5.3 検索ツールを事前設定する	51
5.4 検索ツールで Microsoft Windows システムを検索する	53
5.5 検索ツールで検索結果を確認する	55

付録 A : サポートされる OS

A.1 管理プログラムでサポートされる OS	60
A.2 検索ツールでサポートされる OS	62

付録 B : 検索設定

付録 C : トラブルシューティングと参照情報

C.1 検索ツールのデバッグログを生成する	70
C.2 デバイスを初期出荷状態にする	71
C.3 参照情報	72

索引

索引	73
----------	----

第1章

概要

Trend Micro Portable Security 3 を使用すると、スタンドアロンのコンピュータやネットワークから切り離されたシステムから不正プログラムを効率的に検索して駆除できます。持ち運び可能な検査デバイス、つまり検索ツールであり、Windows デバイスまたは Linux デバイスの USB インタフェースを使用して、ソフトウェアをインストールすることなく不正プログラムを検出および除去します。検索が完了すると、不正プログラムが検出されたか、駆除されたか、さらなる調査が必要かどうかを LED ライトで確認できます。検索時には資産情報も収集されるため、OT の可視性の向上とシャドー OT の削減にも役立ちます。管理プログラムからは、検索設定を複数の検索ツールにリモートで、または直接配信できます。複数の場所にある検索ツールの検索ログや資産情報を管理プログラムに集めて、すべてのコンピュータの状態を全体的に把握することもできます。



第 2 章

評価の目的

Trend Micro Portable Security 3 を使用すると、ネットワークから切り離されたシステムやスタンドアロンの PC から簡単に不正プログラムを検索して駆除できます。管理プログラムでは、複数の検索ツールとコンピュータの検索処理がまとめて表示されます。不正プログラムの検索と集中管理 (パターンファイルのアップデート、設定の配信、および検索ログと資産情報の相関など) について評価するには、第 4 章の「検索ツールの集中管理」にある手順に従ってください。検索プロセスの利便性について確認するには、第 5 章の「スタンドアロンモードで設定されている検索ツール」にある手順とユースケースに従ってください。

	ユースケース	集中管理と不正プログラムの検索の評価 (第 4 章)	スタンドアロンモードで設定されている検索ツールを使用した検索プロセスの評価 (第 5 章)
1	ライセンスのアクティベーションを実行する	○	○
2	最新のコンポーネントとパターンファイルにアップデートする	○	○
3	管理プログラムで事前設定を行う	○	

	ユースケース	集中管理と不正プログラムの検索の評価 (第 4 章)	スタンドアロンモードで設定されている検索ツールを使用した検索プロセスの評価 (第 5 章)
4	検索ツールの設定とコンポーネントを管理プログラムから同期する	○	
5	検索ツールを事前設定して確認する	○	○
6	検索ツールで Microsoft Windows システムを検索する	○	○
7	検索ツールで検索結果を確認する	○	○
8	検索ログを管理プログラムに転送する	○	
9	管理プログラムで検索結果を確認する	○	
10	管理プログラムで資産情報を確認する	○	

一般的なユースケースでは、検索ツールと管理プログラムを管理するのはセキュリティチームの管理者ですが、検索を実行するのは製造チームのオペレータです。第 4 章では、ユースケースごとのオーナーをアイコンで示します。



第3章

評価に必要なもの

評価のユースケースを実行する環境には、事前に次のソフトウェアとハードウェアが必要です。

1. Trend Micro Portable Security 3 検索ツール (USB デバイス)



注意

Trend Micro Portable Security 3 を評価する場合は、新規の検索ツールまたはまだアクティベーションが実行されていない任意の検索ツールを使用することをお勧めします。アクティベーションを実行した検索ツールを使用している場合は、69 ページの「付録 C」に従って、デバイスを初期出荷状態にしてから評価を始めてください。

2. Trend Micro Portable Security 3 Standard Edition の有効なアクティベーションコード
3. 次の 2 台のコンピュータ
 - a. PC-1: インターネットに接続され、管理プログラムがインストールされていない管理環境。
 - b. PC-2: 管理プログラムがインストールされていない検索対象。

**注意**

この2台のコンピュータは、検索ツールを使った検索と、管理プログラムを使った管理の両方の評価に必要です。検索プロセスの利便性の確認のみが必要な場合は、検索対象としてPC-2のみを準備します。PC-2には、いかなるセキュリティ製品もインストールしないでください。

**4. テスト用の不正プログラム対策テストサンプル (eicar.com)**

テストサンプルは https://www.eicar.org/?page_id=3950 からダウンロードしてください。

**重要**

PC-2には、いかなるセキュリティ製品もインストールしないでください。PC-2でWindows 8以上が稼動している場合は、Microsoft Defenderのウイルスと脅威のリアルタイム保護をオフにしてください。

サポートされる OS

管理プログラムと検索ツールの最小要件は次のとおりです。サポートされる OS の詳細については、59 ページの「付録 A」を参照してください。

	管理プログラム	検索ツールと検索ツールエージェント
OS	Windows 7 Home Basic / Home Premium / Professional / Enterprise / Ultimate SP1 (32 ビット/64 ビット) Windows 8 Pro / Enterprise (32 ビット/64 ビット) *1 Windows 8.1 Pro / Enterprise (32 ビット/64 ビット) *1 Windows 10 Pro / Enterprise (32 ビット/64 ビット) Windows Server 2008 Standard / Enterprise SP2 (32 ビット/64 ビット) Windows Server 2008 Standard / Enterprise R2 SP1 (64 ビット) Windows Server 2012 Standard / Datacenter / Foundation / Essentials (64 ビット) Windows Server 2012 Standard / Datacenter / Foundation / Essentials R2 (64 ビット) Windows Server 2016 Standard / Essentials (64 ビット)	Windows 2000 SP3 / SP4 (32 ビット) *2 Windows Vista Business / Enterprise / Ultimate SP1 / SP2 (32 ビット/64 ビット) Windows XP Professional SP1 / SP2 / SP3 (32 ビット/64 ビット) *3 Windows XP Embedded SP1 / SP2 / SP3 (32 ビット) *4 Windows Embedded Standard 2009 (32 ビット) *4 Windows Embedded Standard 7 (32 ビット/64 ビット) Windows Embedded POSReady 2009 (32 ビット) Windows Embedded POSReady 7 (32 ビット) Windows XP Professional for Embedded Systems SP1 / SP2 / SP3 (32 ビット) Windows Vista for Embedded Systems SP1 / SP2 (32 ビット) Windows 7 for Embedded Systems SP1 (32 ビット/64 ビット)

	管理プログラム	検索ツールと検索ツール エージェント
	Windows Server 2019 Standard / Essentials (64 ビット)	Windows 8 Standard for Embedded Systems (32 ビッ ト/64 ビット) Windows 8.1 Pro / Industry for Embedded Systems (32 ビット/64 ビット) Windows 10 Home / IoT Enterprise (32 ビット/64 ビット) Windows Server 2003 Standard / Enterprise R2 (32 ビット/64 ビット) Windows Server 2003 for Embedded Systems SP1 / SP2 (32 ビット)、R2 (32 ビット) Windows Server 2008 for Embedded Systems (32 ビッ ト/64 ビット)、R2 (64 ビッ ト) Windows Server 2012 for Embedded Systems (32 ビッ ト/64 ビット)、R2 (64 ビッ ト) CentOS 6 (32 ビット/64 ビッ ト) / CentOS 7 (64 ビット) / CentOS 8 (64 ビット) RHEL 6 (32 ビット/64 ビッ ト) / RHEL 7 (64 ビット) / RHEL8 (64 ビット) Ubuntu Desktop / Server 14.04~20.10 (32 ビット/64 ビット)
CPU	各 OS の最小システム要件と同じ	
メモリ	各 OS の最小システム要件と同じ	

	管理プログラム	検索ツールと検索ツール エージェント
必要な HDD 空き容量	300MB	200MB
ディスプレイ解像度	1024 x 768 以上	640 x 480 以上
対応言語	MUI (英語、日本語)	MUI (英語、日本語)

*1 資産情報の収集は Windows プラットフォームでのみサポートされます。

*2 タブレット端末にインストールされている Windows 8 と Windows 8.1 はサポートされません。Windows RT 8 と Windows RT 8.1 はサポートされません。

*3 Windows 2000 SP3/SP4 では、ウイルス検索と資産情報の収集に関連する機能のみがサポートされます。Windows 2000 のサポートの詳細については、免責事項を参照してください。

*4 Service Pack 未適用の Windows XP はサポートされません。

*5 これらの OS は、Windows XP Professional のコンポーネント化されたバージョンです。OS のコンポーネントがお客様によってカスタマイズされている場合、サポートを提供できないことがあります。

注意

サポートされる OS の最新の一覧については、トレンドマイクロの公式 Web サイトにある TMPS3 のサポートリスト (<https://go-tm.jp/tmps3>) を参照してください。

第4章

検索ツールの集中管理のユースケース

管理プログラムは、すべての検索ツールのコンポーネント、設定、およびログを一元管理します。管理プログラムは各検索ツールに同梱されています。集中管理モードで設定されている検索ツールは、それぞれ離れた場所にあるコンピュータで使用できます。さらにローカルまたはリモートで管理プログラムにファイルをアップロードしたり、管理プログラムと設定を同期したりできます。

4.1 管理プログラムをインストールして検索ツールのアクティベーションを実行する



手順

1. 検索ツールを対象の PC-1 に接続します。
2. Windows エクスプローラで `TMPS3 SYS\MP` ディレクトリにある `MP_Install.exe` をダブルクリックします。
3. [使用許諾契約書] 画面が表示されたら、契約書を読み、[同意する] をクリックします。



4. [インストール先] 画面が表示されたら、パスを直接入力するか、フォルダを参照して、[次へ] をクリックします。



5. [アクティベーションコード] 画面が表示されたら、アクティベーションコードを指定し、[次へ] をクリックします。
6. [通信ポートおよびパスワード] 画面が表示されたら、管理用コンピュータの IP アドレスとポート番号を指定し、パスワードを作成します。

Trend Micro Portable Security 3

通信ポートおよびパスワード

TREND MICRO | txOne networks

管理プログラムが検索ツールとの接続を確立するために使用するポート番号とパスワードを指定します。

待機IPアドレス:

待機ポート:

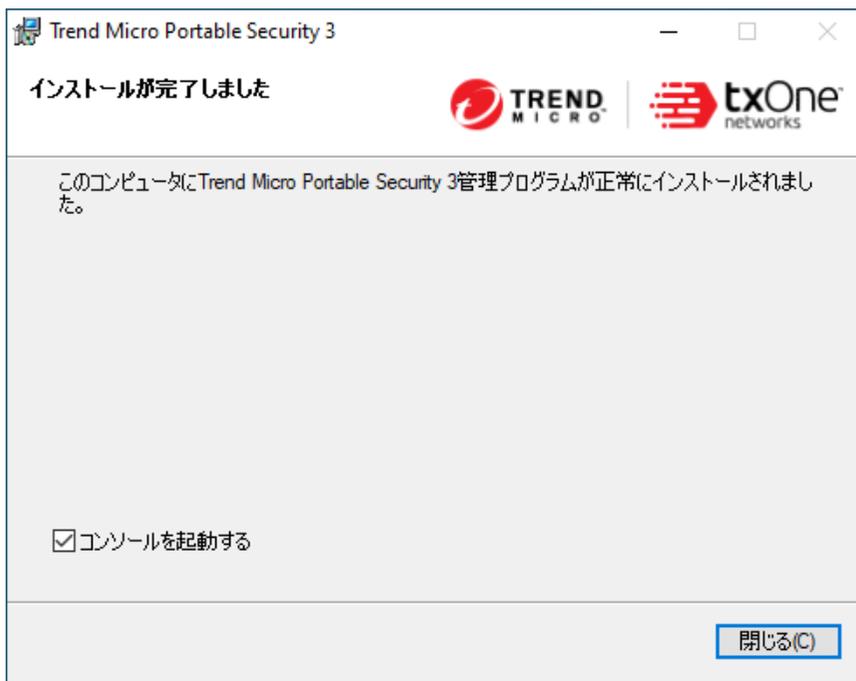
パスワード(W):

パスワードの確認(E):

< 戻る(B) 次へ(N)> キャンセル(C)

管理用コンピュータでホストベースのファイアウォール製品をご利用の場合は、ファイアウォール製品の設定から `C:\Program Files\Trend Micro\Portable Security 3\SfSrvCom.exe` サービスに対する通信の許可設定を行ってください。

7. [次へ] をクリックします。
8. [コンソールを起動する] を有効にします。
9. [インストールが完了しました] 画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。



4.2 最新のコンポーネントとパターンファイルにアップデートする



手順

1. アップデートは自動的に開始されます。

- コンポーネントとパターンファイルのアップデート中は、アップデート進行状況画面が表示されます。



4.3 検索ツールを事前設定する



手順

1. [登録済み検索ツール] タブをクリックします。ここでは、この管理プログラムで管理しているすべての登録済み検索ツールの検索設定を行うことができます。



2. [開く] をクリックして、管理プログラムに登録されている [検索ツールの標準設定] を表示または変更します。
3. [検索の種類] を [初期設定のフォルダ (クイック検索)] に変更します。

検索ツールの標準設定

基本 詳細 Rescue Disk その他 [ヘルプ](#)

検索の種類:

- すべてのローカルフォルダ(F)
- 初期設定のフォルダ (クイック検索)(I)
- Safe Lockアプリケーション制御検索(K) [?](#)
- 特定のフォルダ(F)

検索オプション

- リムーバブルドライブを検索する(M) [?](#)
- 検索プロセス優先度を下げる(W) [?](#)
- 検索の中断を有効にする [?](#)
- CVEの検出を有効にする [?](#)

追加(A) 削除(D) 編集(E)

検出時の処理:

- 手動で処理を選択(N)
- ログに記録のみ(L)
- トレンドマイクロの推奨処理を使用(R) [詳細情報](#)

保存(S) キャンセル(C)

**注意**

検索設定の詳細については、[67 ページの「付録 B」](#)を参照してください。

4. [保存] をクリックして設定を保存します。[検索ツールの標準設定] が次のように表示されます。



5. 右下にある [ロック] アイコンをクリックして検索ツール設定をロックし、オペレータが検索ツール画面から検索設定を変更できないようにします。



4.4 設定とコンポーネントを管理プログラムから検索ツールに同期する



手順

1. [現在接続中の検索ツール] タブをクリックします。ここでは、管理用コンピュータに現在接続されている検索ツールのステータスを確認できます。



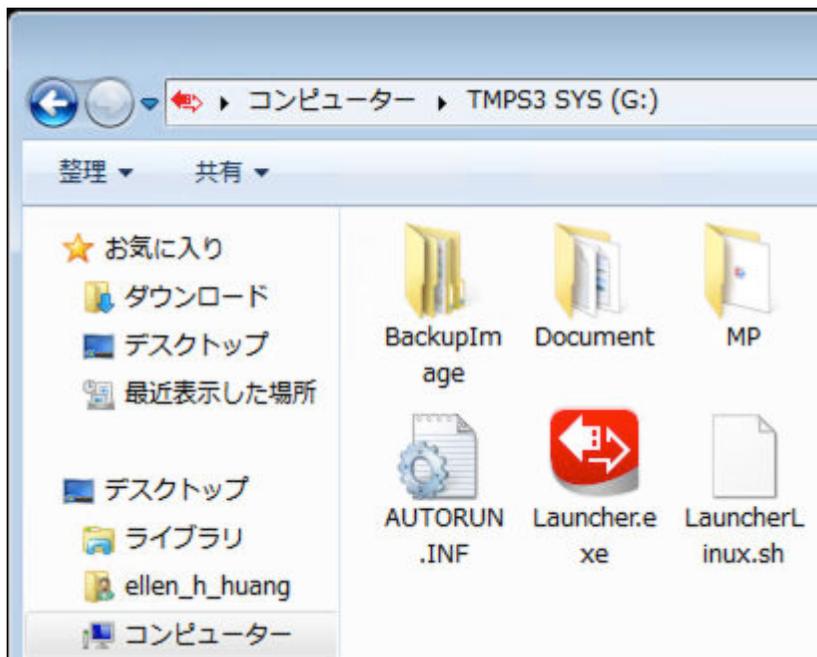
2. [コンポーネントと検索設定の同期] をクリックして、最新のコンポーネントと設定を管理プログラムから検索ツールに配信します。
3. 同期中は [同期しています] 画面が表示されます。コンポーネントと設定の同期が完了するまで数秒かかることがあります。
4. 右上にある [X] をクリックして、管理プログラムを閉じます。
5. PC-1 から検索ツールを取り外します。

4.5 検索ツールを事前設定して確認する



手順

1. 検索ツールを PC-2 に接続し、Windows エクスプローラで [TMPS3 SYS] ドライブ内にある Launcher.exe をダブルクリックします。



2. 検索ツール画面が表示され、[検索設定] が管理プログラムから次のように設定され同期されていることを確認できます。



3. 検索ツール画面の [編集] リンクをクリックします。検索設定は、25 ページの「4.3」の手順 5.の実行時に管理プログラムによってロックされているためグレー表示されます。



 **注意**

この手順は、オペレータが検索ツール画面から検索設定を変更しないよう、管理者が管理プログラムで検索設定をロックしていることを確認するためのものです。管理者が管理プログラムで設定のロックを解除し設定を同期した後、オペレータは検索ツールから検索設定を変更できます。検索設定の詳細については、67 ページの「付録 B」を参照してください。

4. 検索ツール画面の右上にある [設定] をクリックして、管理プログラムとの接続設定を確認します。IP アドレス、ポート番号、およびパスワードが正しいことを確認します。

検索ツールの設定

管理プログラムのIPアドレス、パスワード、およびポートを指定して、検索ツールの設定を管理プログラムや別の管理プログラムと同期させます。

同期プログラム: アドレス(M): ポート(O):
パスワード(D):

アップデート元:

管理プログラム
 トレンドマイクロのアップデートサーバ (インターネット接続が必要)
 <https://tmps3-p.activeupdate.trendmicro.co.jp/activeupdate/japan>
 その他のアップデート元

 アップデート元は、最新の検索エンジンやコンポーネントの確認およびダウンロードに使用されます。

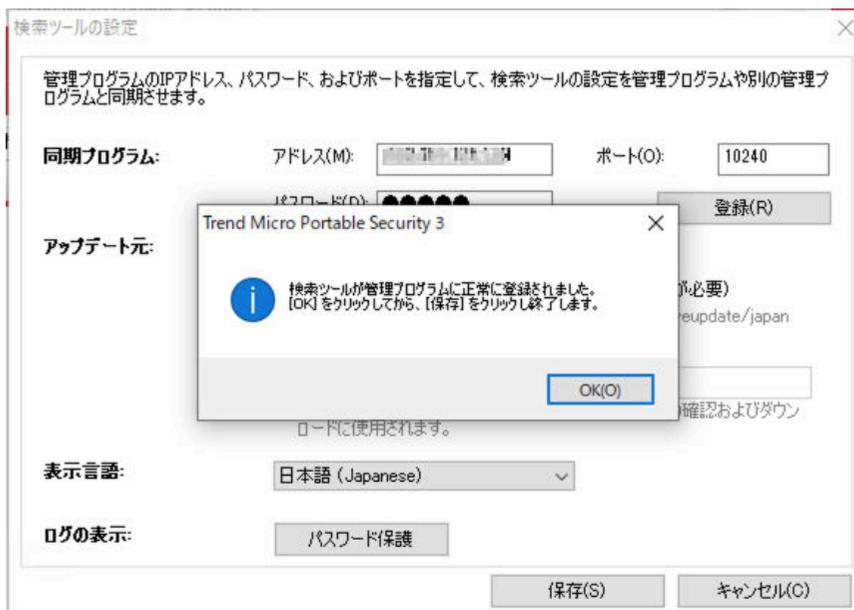
表示言語:

ログの表示:

**注意**

注意: IP アドレス、ポート番号、およびパスワードは、20 ページの「4.1」の手順 6. で管理プログラムで設定されます。

5. [登録] をクリックして、この検索ツールを管理プログラムに登録します。検索ツールが管理プログラムに登録されると、次のダイアログが表示されます。



注意

「4.5」の手順 4.と「4.5」の手順 5.は、アクティベーションが実行され別の管理プログラムのインスタンスに登録された検索ツールを受け取った場合に備え、念のため管理プログラムと検索ツールの間の接続設定を確認するために使用します。新規の検索ツールまたはまだアクティベーションが実行されていない任意の検索ツールについては、自動的にアクティベーションが実行され、管理プログラムに登録されます。

6. [OK] をクリックし、[保存] をクリックして設定を保存します。

4.6 検索ツールで Microsoft Windows システムを検索する



手順

1. [検索] タブの [検索開始] をクリックし、現在の検索設定でコンピュータの検索を開始します。
2. 検索には、PC-2 のパフォーマンスとファイル数によって 3~10 分かかります。検索ツールの LED ライトに検索のステータスが表示されます。

インジケータライト	説明
青色 (点滅)	検索ツールに情報を書き込んでいるか、検索ツールから情報を取得しています。
青色	検索が完了し、脅威は検出されませんでした。
黄色	検索が完了し、検出された脅威はすべて駆除されました。
赤色	検索が完了し、さらなる対処が必要な脅威が検出されました。
青色、黄色、赤色 (連続して点滅)	検索を実行しています。

3. 検索が完了すると、検索結果が画面に表示されます。次のように、不正プログラム対策テストサンプルが検出されたことが表示されます。



4. [適用] をクリックして、検出された脅威を処理します。



- 脅威が処理され、[詳細] リンクから詳しい検索結果を確認できます。



4.7 検索ツールで検索結果を確認する

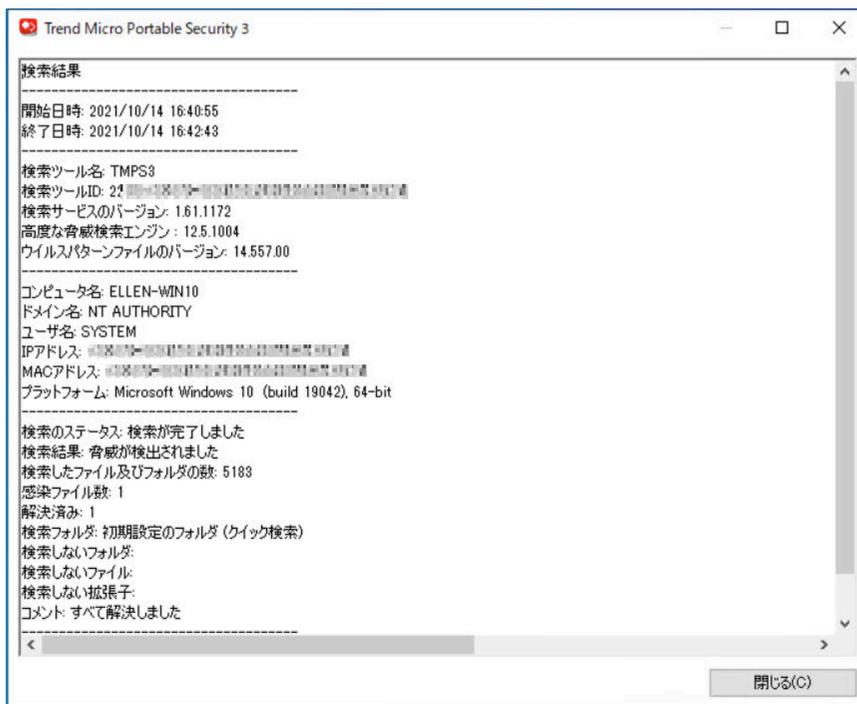


手順

1. [ログ] タブをクリックします。検索結果を表示するには、[検索ログ] を選択して、[時刻] 列の項目をクリックします。



2. 次のように詳細なログが表示されます。



4.8 検索ログを検索ツールから管理プログラムに転送する



手順

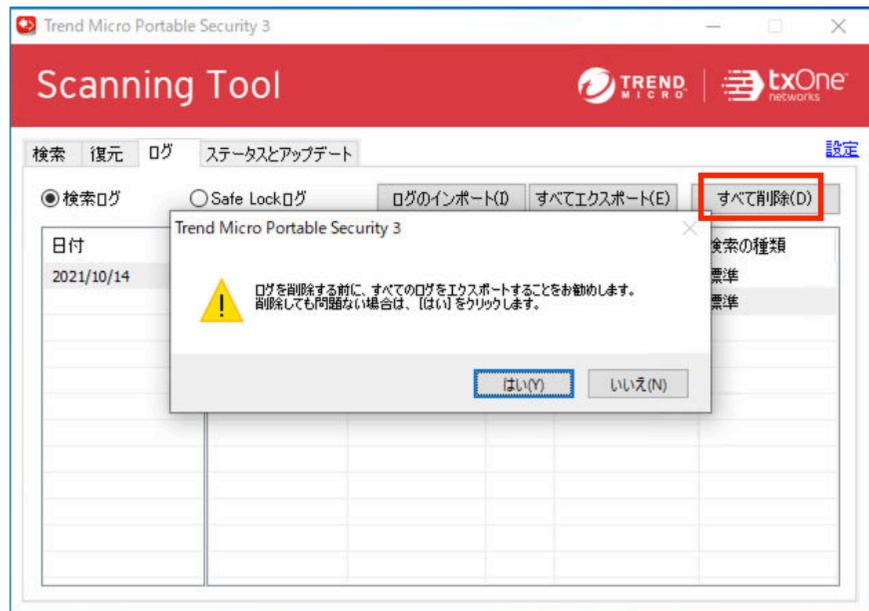
1. 検索ツール画面で [ステータスとアップデート] タブをクリックします。
2. [ログと検索設定の同期] ボタンをクリックします。



3. 同期中は [同期しています] 画面が表示されます。ログと設定の同期が完了するまで数秒かかることがあります。同期が終了すると、次のようなポップアップ画面が表示されます。



- これで検索ログが管理プログラムに転送されました。[OK] をクリックして次に進みます。
- [ログ] タブに移動し、[すべて削除] ボタンをクリックして検索ログを削除します。



6. 右上隅にある [X] をクリックして、検索ツール画面を閉じます。



重要

次に進む前に、検索ツール画面を閉じる必要があります。

4.9 管理プログラムで検索結果を確認する



手順

1. PC-1 の管理コンソールで、[ログとレポート] タブをクリックします。
2. 管理プログラムで検索結果を確認します。検索ログは、[コンピュータ] の下ではコンピュータ名ごとに表示され、[検索ツール] の下では検索ツール名に基づいて表示されます。検索ツールレポートは次の例のように表示されます。

概要	検索	同期	アップデート	デバイス情報
 検索	合計:		2	
	コンピュータ数:		1	
	検出数:		2	
	平均検索頻度:		3.0分	
	平均検索時間:		54.0秒 (最大: 1.0分、最小:)	
	前回の検索日時:		2021/10/14 16:40:55	
 同期	合計:		3	
	平均同期頻度:		18.0秒	
	前回の同期日時:		2021/10/14 16:48:49	
 アップデート	合計:		1	
	平均アップデート頻度:		--	
	前回のアップデート:		2021/10/14 16:48:14	

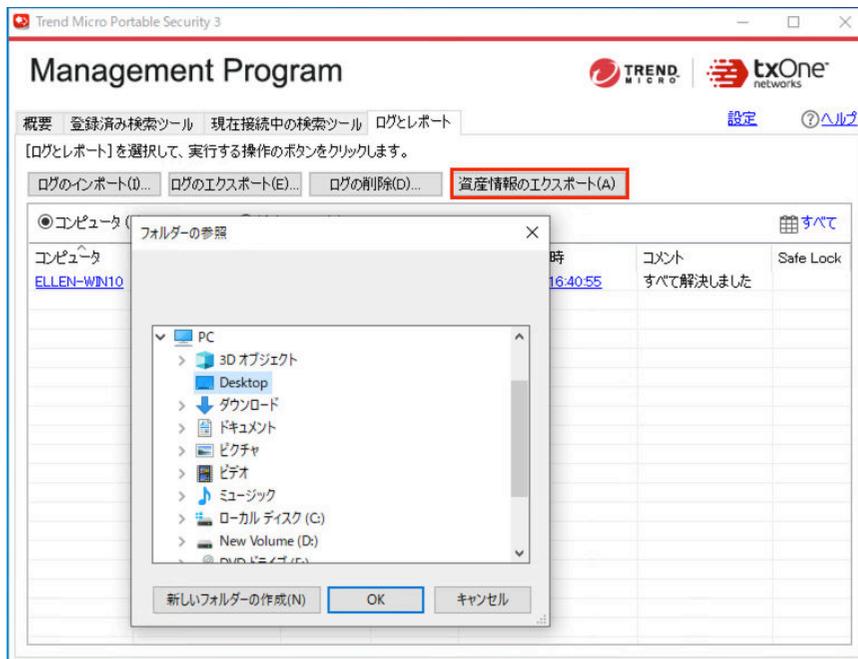
閉じる(C)

4.10 管理プログラムで資産情報を確認する



手順

1. 管理プログラムの [資産情報のエクスポート] ボタンをクリックし、[デスクトップ] を選択して、検索時に検索ツールで収集した資産情報をエクスポートします。



注意

検索ツールでは、管理用コンピュータの資産情報は収集されません。

2. 検索ツールで収集された資産情報は CSV 形式で確認できます。次のファイルがデスクトップに保存されます。

ファイル名のプレフィックス	説明
TMPS3_AssetInfo_*	システムおよびハードウェア情報

ファイル名のプレフィックス	説明
TMPS3_UpdateInfo_*	Windows Update 情報
TMPS3_ApplicationInfo_*	インストール済みアプリケーションのリスト

Host ID	Host Name	Domain Name	MAC	IP	OSの説明	OSのバージョン	ベンダ名	ハードウェアモデル	ハードウェアのシリアル番号	BIOSバージョンおよびBIC
1237168299	DESKTOP-35F9U50	DESKTOP-35F9U50	00:0C:29:05:03:85	192.168.126.128	Microsoft Win10	WINDOWS	VMware, Inc.	VMware7,1	VMware-56 4d e1 e9 34 5d 8d 2f-1	INTEL - 6040000, VMW71 UE

Host ID	名前	プログラム	バージョン	発行元	インストールの日付
1237168299	Update for Microsoft Windows (KB5005539)	Microsoft Windows		Microsoft	10/12/2021 0:00
1237168299	Update for Microsoft Windows (KB5000736)	Microsoft Windows		Microsoft	4/9/2021 0:00
1237168299	Security Update for Microsoft Windows (KB5006670)	Microsoft Windows		Microsoft	10/12/2021 0:00
1237168299	Security Update for Microsoft Windows (KB5005699)	Microsoft Windows		Microsoft	9/15/2021 0:00

Host ID	名前	発行元	インストールの日付	サイズ	バージョン	インストールパス
1237168299	Microsoft Edge	Microsoft Corporation	10/13/2021 0:00	94.0.992.47		C:\Program Files (x86)\Microsoft\Edge\Application
1237168299	Microsoft Edge Update	Microsoft Corporation		1.3.153.47		
1237168299	Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x64) - 14.24.28127	Microsoft Corporation		23712KB	14.24.28127.4	
1237168299	Python Launcher	Python Software Foundation	9/28/2021 0:00	1804KB	3.7.7168.0	
1237168299	Microsoft Visual C++ 2015-2019 Redistributable (x86) - 14.24.28127	Microsoft Corporation		20646KB	14.24.28127.4	
1237168299	VMware Tools	VMware, Inc.	7/30/2021 0:00	97027KB	11.1.5.16724464	C:\Program Files\VMware\VMware Tools\
1237168299	Microsoft Update Health Tools	Microsoft Corporation	10/8/2021 0:00	1078KB	2.84.0.0	
1237168299	Microsoft OneDrive	Microsoft Corporation		195319KB	21.180.0905.0007	
1237168299	Python 3.7.9 (64-bit)	Python Software Foundation		106479KB	3.7.9150.0	

第5章

スタンドアロンモードで設定されている 検索ツールのユースケース

スタンドアロンモードで設定されている検索ツールは、管理プログラムから独立しているため、検索エンジンやパターンファイルをインターネットから直接アップデートできます。



注意

第4章のユースケースをテストしている場合、この章は省略できます。

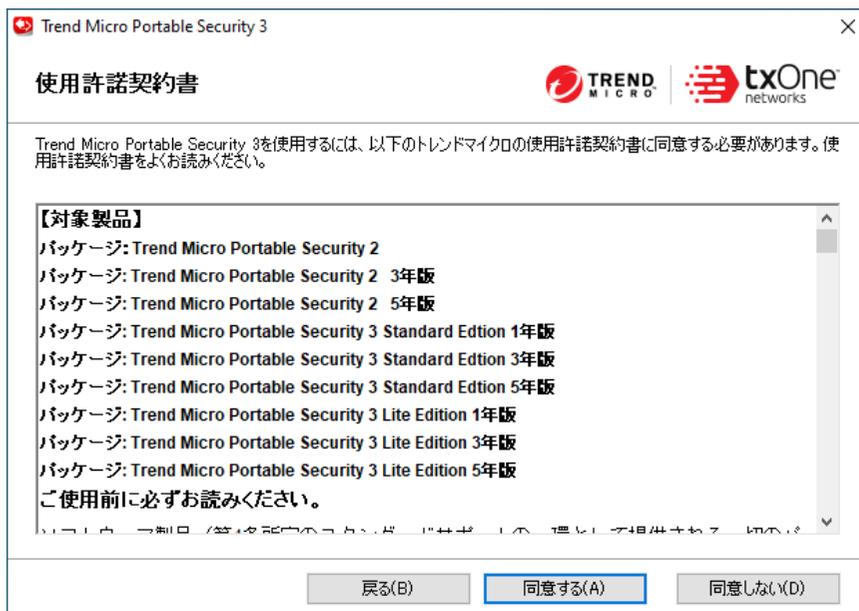
5.1 検索ツールのライセンスのアクティベーションを実行する

手順

1. 新規の検索ツールまたはまだアクティベーションが実行されていない任意の検索ツールをコンピュータに接続します。
2. Windows エクスプローラで [TMPS3 SYS] ドライブ内にある **Launcher.exe** をダブルクリックします。



3. [スタンドアロンモード] を選択して、[次へ] をクリックします。



4. [使用許諾契約書] 画面が表示されたら、契約書を読み、[同意する] をクリックします。



The screenshot shows a dialog box titled "Trend Micro Portable Security 3" with a close button (X) in the top right corner. The main heading is "アクティベーションコード" (Activation Code). To the right of the heading are the Trend Micro and txOne Networks logos. Below the heading, there is a line of text: "Trend Micro Portable Security 3のアクティベーションコードを次の形式で入力してください。" (Please enter the Trend Micro Portable Security 3 activation code in the following format). Underneath this is a label "アクティベーションコード:" followed by a text input field. Below the input field is a placeholder text: "(次の形式を使用してください) XX-XXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX". At the bottom of the dialog box, there are three buttons: "戻る(B)" (Back), "有効にする(A)" (Activate), and "キャンセル(C)" (Cancel). The "有効にする(A)" button is highlighted with a blue border.

5. アクティベーションコードを入力して、[有効にする] をクリックします。

5.2 最新のコンポーネントとパターンファイルにアップデートする

手順

1. 検索ツール画面で [ステータスとアップデート] タブをクリックします。
2. [アップデート] をクリックします。
3. コンポーネントとパターンファイルのアップデート中は、アップデート進行状況画面が表示されます。
4. 検索ツールを再起動します。



注意

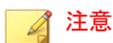
トレンドマイクロから最新のパターンファイルや検索エンジンをダウンロードして、検索ツールをアップデートします。コンポーネントのバージョンと最新のアップデート日時を確認するには、[コンポーネントバージョン] リンクをクリックしてください。

5.3 検索ツールを事前設定する

手順

1. 検索ツール画面を開きます。
2. 検索を開始する前に検索設定を変更するには、[編集] リンクをクリックします。

3. [検索の種類] を [初期設定のフォルダ (クイック検索)] に変更します。

**注意**

検索設定の詳細については、[67 ページの「付録 B」](#) を参照してください。

4. [保存] をクリックして設定を保存します。

5.4 検索ツールで Microsoft Windows システムを検索する

手順

1. [検索] タブの [検索開始] をクリックし、現在の検索設定でコンピュータの検索を開始します。

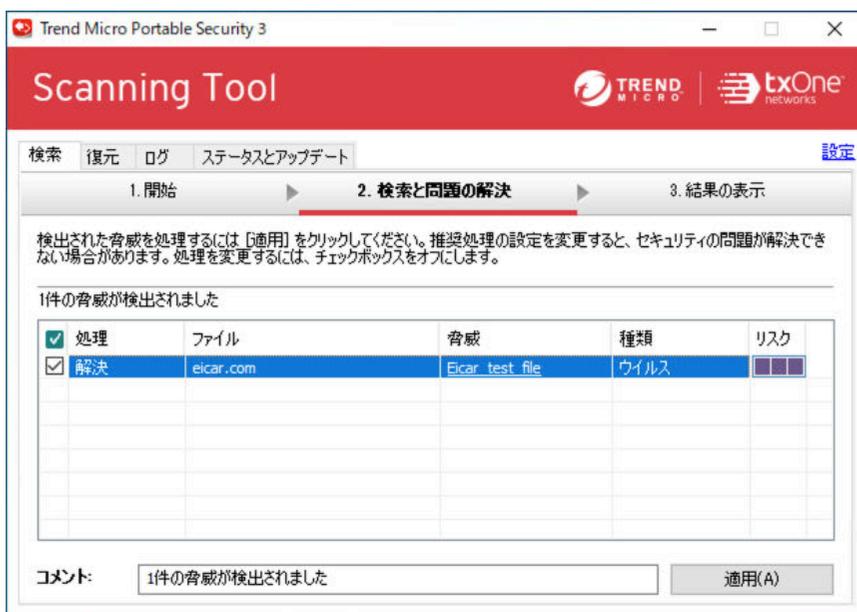


2. 検索には、PC-2 の仕様と存在するファイル数によって 3～10 分かかります。検索ツールの LED ライトに検索のステータスが表示されます。

インジケータライト	説明
青色 (点滅)	検索ツールに情報を書き込んでいるか、検索ツールから情報を取得しています。

インジケータライト	説明
青色 (点灯)	検索が完了し、脅威は検出されませんでした。
黄色 (点灯)	検索が完了し、検出された脅威はすべて駆除されました。
赤色 (点灯)	検索が完了し、さらなる対処が必要な脅威が検出されました。
青色、黄色、赤色 (連続して点滅)	検索を実行しています。

3. 検索が完了すると、検索結果が画面に表示されます。次のように、検出された不正プログラム対策テストサンプルが表示されます。



4. [適用] をクリックして、検出された脅威を処理します。
5. 脅威が処理され、[詳細] リンクをクリックすることで詳しい検索結果を確認できます。



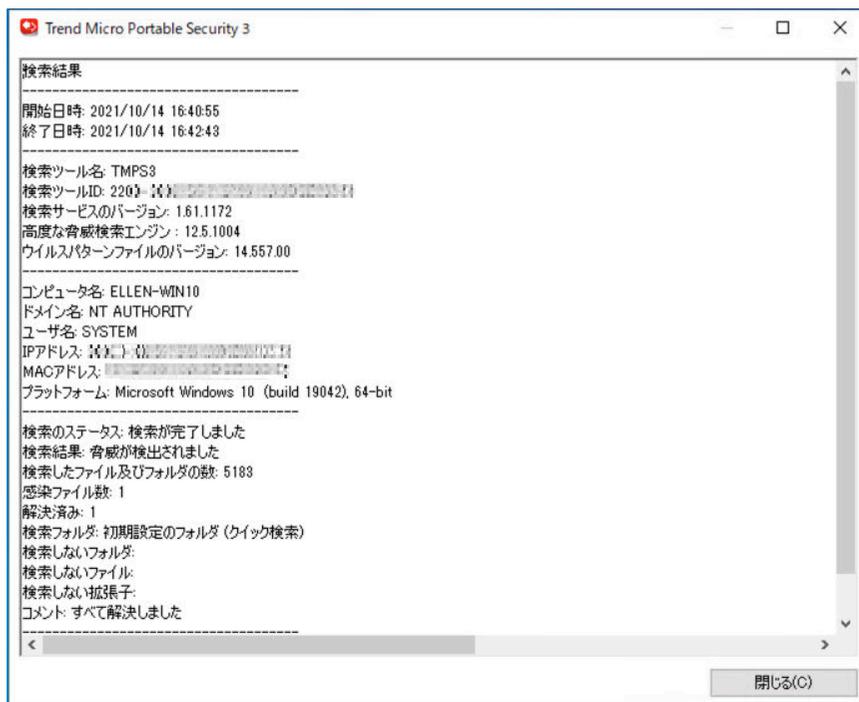
5.5 検索ツールで検索結果を確認する

手順

1. [ログ] タブをクリックします。検索結果を表示するには、[検索ログ] を選択して、[時刻] 列の項目をクリックします。



2. 次のように詳細なログが表示されます。



付録 A

サポートされる OS

サポートされる OS は次のとおりです。テストには、作業環境で主に使用している OS を選択することをお勧めします。

A.1 管理プログラムでサポートされる OS

MICROSOFT OS	必要となる最小 SERVICE PACK	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Professional	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Enterprise	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Ultimate	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Home Basic	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Home Premium	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8 (*1) (*2)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8 Pro (*1)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8 Enterprise (*1)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8.1 (*1) (*2)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8.1 Pro (*1)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8.1 Enterprise (*1)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Pro	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Enterprise	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Education	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 Standard	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット

MICROSOFT OS	必要となる最小 SERVICE PACK	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 Enterprise	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 Standard	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 Enterprise	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard	Service Pack 1	64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise	Service Pack 1	64 ビット
Microsoft Windows Server 2012 Standard	-	64 ビット
Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	-	64 ビット
Microsoft Windows Server 2016 Standard	-	64 ビット

(*1) タブレットデバイスにインストールされた Windows 8 と Windows 8.1 はサポートされません。

(*2) Windows RT 8 と Windows RT 8.1 はサポートされません。

A.2 検索ツールでサポートされる OS

MICROSOFT OS	必要となる最小 SERVICE PACK	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows XP Professional (*3)	Service Pack 1、2、または 3	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Vista Business	Service Pack 1 または 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Vista Enterprise	Service Pack 1 または 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Vista Ultimate	Service Pack 1 または 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Professional	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Enterprise	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Ultimate	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Home Basic	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 7 Home Premium	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8 (*4) (*5)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8 Pro (*4)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8 Enterprise (*4)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8.1 (*4) (*5)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8.1 Pro (*4)	-	32 ビット/64 ビット

MICROSOFT OS	必要となる最小 SERVICE PACK	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 8.1 Enterprise (*4)	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Home	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Pro	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Enterprise	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows 10 Education	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 Standard	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 Enterprise	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2003 R2 Enterprise	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 Standard	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 Enterprise	Service Pack 2	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard	Service Pack 1	64 ビット
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise	Service Pack 1	64 ビット
Microsoft Windows Server 2012 Standard	-	64 ビット
Microsoft Windows Server 2012 R2 Standard	-	64 ビット

MICROSOFT OS	必要となる最小 SERVICE PACK	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows XP Embedded (*3)	Service Pack 1、2、または 3	32 ビット
Microsoft Windows Embedded Standard 2009	-	32 ビット
Microsoft Windows Embedded Standard 7	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Embedded 8 Standard	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Embedded 8.1 Pro	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Embedded 8.1 Industry	-	32 ビット/64 ビット
Microsoft Windows Embedded Enterprise ファミリー	-	-
- Windows XP Professional for Embedded Systems (*3)	Service Pack 1、2、または 3	32 ビット
- Windows Vista for Embedded Systems	Service Pack 1 または 2	32 ビット
- Windows 7 for Embedded Systems	Service Pack 1	32 ビット/64 ビット
- Windows Server 2003 for Embedded Systems	Service Pack 1 または 2	32 ビット
- Windows Server 2003 R2 for Embedded Systems	Service Pack 1 または 2	32 ビット
- Windows Server 2008 for Embedded Systems	-	32 ビット/64 ビット
- Windows Server 2008 R2 for Embedded Systems	-	64 ビット

MICROSOFT OS	必要となる最小 SERVICE PACK	32 ビット/64 ビット
- Windows Server 2012 for Embedded Systems	-	64 ビット
- Windows Server 2012 R2 for Embedded Systems	-	64 ビット
Microsoft Windows Embedded POSReady 2009	-	32 ビット
Microsoft Windows Embedded POSReady 7	-	32 ビット
RedHat 8、7、6、5	-	32 ビット/64 ビット
CentOS 7、6	-	32 ビット/64 ビット
Ubuntu Desktop/Server 14.04 ~20.10	-	32 ビット/64 ビット

(*3) Service Pack 未適用の Windows XP はサポートされません。

(*4) タブレットデバイスにインストールされた Windows 8 と Windows 8.1 はサポートされません。

(*5) Windows RT 8 と Windows RT 8.1 はサポートされません。



サポートされる OS の最新の一覧については、トレンドマイクロの公式 Web サイトにある TMPS3 のサポートリスト (<https://go-tm.jp/tmps3>) を参照してください。

付録 B

検索設定

管理プログラムや検索ツールの画面から、検索の種類、検索オプション、および検出時の処理などの検索設定を変更できます。

検索の種類:

検索するフォルダの場所と、不正プログラムに対して脆弱なファイルタイプのみを検索するかどうかを指定します。

- すべてのローカルフォルダ: すべてのフォルダを検索します
- 初期設定のフォルダ (クイック検索): ウイルスに感染しやすいフォルダ (Windows のシステムフォルダなど) のみを検索します
- Safe Lock アプリケーション制御検索: Safe Lock のアプリケーション制御機能によって隔離またはブロックされたファイルのみを検索します。
- 特定のフォルダ: 選択したドライブやフォルダを検索します。

検索オプション:

- リムーバブルドライブを検索する: コンピュータに接続されているリムーバブルドライブを検索します
- 検索プロセス優先度を下げる: コンピュータでのパフォーマンスへの影響は軽減されますが、検索時間は長くなります
- 検索の中断を有効にする: 検索中に [中断] ボタンを表示する場合に選択します

検出時の処理:

脅威の検出後に検索ツールで実行する処理を指定します。

- 手動で処理を選択: 実行する処理を確認するようメッセージが表示されます
- ログに記録のみ: 検出した脅威をログに記録しますが、それ以上の処理は実行しません
- トレンドマイクロの推奨処理を使用: 脅威の種類に従い、自動的にトレンドマイクロの推奨処理を行います

付録 C

トラブルシューティングと参照情報

C.1 検索ツールのデバッグログを生成する

手順

1. Trend Micro Portable Security 検索ツールをコンピュータに接続します。
2. [TMPS3 SYS] ドライブで、SmallDebugTool フォルダに移動します。
3. SmallDebugTool.exe を起動して問題を再現し、ログを収集します。
 - a. SmallDebugTool.exe ファイルをダブルクリックします。
 - b. [検索ツールの開始] をクリックして、デバッグモードを開始します。
 - c. Trend Micro Portable Security で発生した問題を再現します。
 - d. 問題を再現したら、[デバッグ情報の収集が完了しました] を有効にします。
 - e. [デバッグモードの停止] をクリックします。
 - f. [データの転送] をクリックします。検索ツールへのログの転送が開始されます。このプロセスの完了には時間がかかることがあります。
 - g. [閉じる] をクリックします。
4. Trend Micro Portable Security 3 サポートツールを起動します。
 - a. USB デバイスの SupportTool フォルダに移動します。
 - b. TMPSSuprt.exe ファイルをダブルクリックします。
5. Trend Micro Portable Security 3 サポートツールを使用して、ログをエクスポートします。
 - a. [デバッグ] タブで [検索ツールからログを読み込む] を選択して、[開始] をクリックします。
 - b. 検索ツールをコンピュータに接続して、[次へ] をクリックします。ログの保存先のパスが表示されます。
 - c. [フォルダを開く] をクリックして、パスに移動します。

- d. zip ファイルを見つけて開き、デバイスログが正常に生成されていることを確認します。

**注意**

デバッグログの生成の詳細については、[Trend Micro Portable Security 3 ユーザガイド](#)の「デバッグ」セクションを参照してください。

C.2 デバイスを初期出荷状態にする

手順

1. Trend Micro Portable Security 3 検索ツールをコンピュータに接続します。
2. [TMPS3 SYS] ドライブで、SupportTool フォルダを USB デバイスからローカルディスクにコピーします。
3. 該当する Win32 または x64 フォルダで、TMPSSuprt.exe ファイルをダブルクリックします。
4. [他の機能] タブに移動します。
5. [デバイスのリセット] をクリックします。
6. [USB デバイスを初期出荷状態にする] を選択して、[次へ] をクリックします。
7. アクティベーションコードをコピーし、[アクティベーションコードを保存しました] チェックボックスをオンにします。
8. [はい] をクリックします。

**注意**

リセット処理が完了するまでの間 (メッセージが出るまで)、USB デバイスを取り外さないでください。

9. デバイスを取り外してから再度挿入し、**Launcher.exe** を実行して、検索ツールがリセットされたことを確認します。検索ツールのリセットが完了すると、[検索ツールの初期設定] 画面が表示されます。



注意

デバイスのリセットの詳細については、[ユーザガイド](#)の「デバイスのリセット」を参照してください。

C.3 参照情報

ユーザガイド: <https://www.go-tm.jp/tmps3-userguide>

よくある質問: <https://success.trendmicro.com/jp/solution/000287793>

索引

アルファベット

LED ライト, 35, 53

Trend Micro Portable Security 3, 9

あ

インストール, 20

か

管理プログラム, 9

検索ツール, 9

検索ツールの集中管理, 11

検索の種類, 26

検索ログ, 38, 55

検索ログの確認, 44

検索ログの転送, 41

コンポーネントとパターンファイル,
24, 50

さ

資産情報, 45

事前設定, 26, 30, 51

詳細ログ, 55

スタンドアロンモードで設定されてい
る検索ツール, 11

た

同期, 29

や

ユースケース, 11

ら

ライセンスのアクティベーション, 22,
48

